

永森直人県議会通信



発行：富山県議会無所属クラブ 代表永森直人
〒939-0306 射水市手崎363-1
TEL 0766-55-3533 FAX0766-55-3577
E-mail:nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp



ご挨拶

みなさん、こんにちは！
早いもので、富山県議会議員とならせていただき、1年が経過をいたしました。

日々、充実した議員活動を行えるのも皆様方のご理解があつてのことであり、感謝を申し上げます。

さて、東日本大震災以降の我が国は一層混迷を深めております。高齢化が進行し、人口が大きく減少していく大変厳しい社会情勢のもとで、被災地の復興、原子力発電所の再稼働とエネルギー問題、社会保障と消費税増税の問題など大変重たい課題が山積をし、日本は、まさに存亡をかけた大きな危機の中にあるといつても過言ではないでしょう。



私は、国が危機的な状況にある今こそ、国が機能不全に陥っている今こそ、地方政治に期待される役割は重くなる、そして地方政治の本当の力が試される時代になってきていると痛感しております。

富山県においては、北陸新幹線の開業を平成26年度に控え高速交通網がようやく整

いつつあります。そして、震災以降は、リスク分散の観点から、これまで裏日本と揶揄されてきた日本海側の都市にも、ようやく光が当たりはじめ、伏木富山港が、日本海側の拠点港に選定されるなどの追い風も吹き始めております。

こうした追い風を、しっかり受け止め、我が県の行く道というものを、国の政策に捉われず独自の観点で、そして長期的な目線で見定めていくことが議員に求められているわけです。

私は、この1年間の経験を通じ、議員が1人でできる活動というもの、限られているということを実感いたしました。一方で、県内外に、志を同じくする仲間や先輩議員が多くいることも知りました。

地域の課題にしっかり取り組むことは当然ですが、多くの方々と交流を重ね、大いに議論をして、議員として、さらなる飛躍を遂げる有意義な一年間にしたいと考えておりますので、皆様方の引き続きのご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



平成24年2月議会の予算特別委員会で質問しました。

テーマ1「医療と介護の連携」

質問の視点

行政レベルでは医療と介護を別々のものと捉えがちですが、「高齢者が骨折し、長期入院を続けるうちに、いつの間にか介護状態となっていた」というケースがあるように、これらは切っても切れない関係にあります。

医療から介護へのスムーズな移行が、医療や介護などの社会保障費の削減につながり、また高齢者の幸せにもつながります。

Q.1 高齢者の身体能力を低下させる漫然とした長期入院を防ぐために、入院当初に退院時期などの治療計画を予め定めることが重要ではないか？

A.1

Q.2 医療から介護へスムーズに移行するためには、リハビリ機能の強化が重要であるが、本県は全国的に見てリハビリ病床が少ない。今後の対応を問う。

A.2

Q.3 急速な高齢化に伴い、医療を要する高齢者が爆発的に増える。医療機関の役割分担をしっかりと整理し、限られた医療資源を最大限に活用することが重要であるがどうか。

A.3

テーマ2「並行在来線の新駅設置」

質問の視点

平成26年度にJRから経営分離される北陸本線において、新駅設置を「富山-東富山」、「高岡-西高岡」の間で検討することが決まりました。しかしながら、新駅は、鉄道の利便性を高め、鉄道利用の需要を増加させるとともに、駅周辺の活性化も見込める公益性の高い事業であります。駅設置の採算性ととのバランスを取りながら、より多くの新駅設置を目指すべきです。



Q.1 新駅設置の採算性についての考え方を問う

A.1

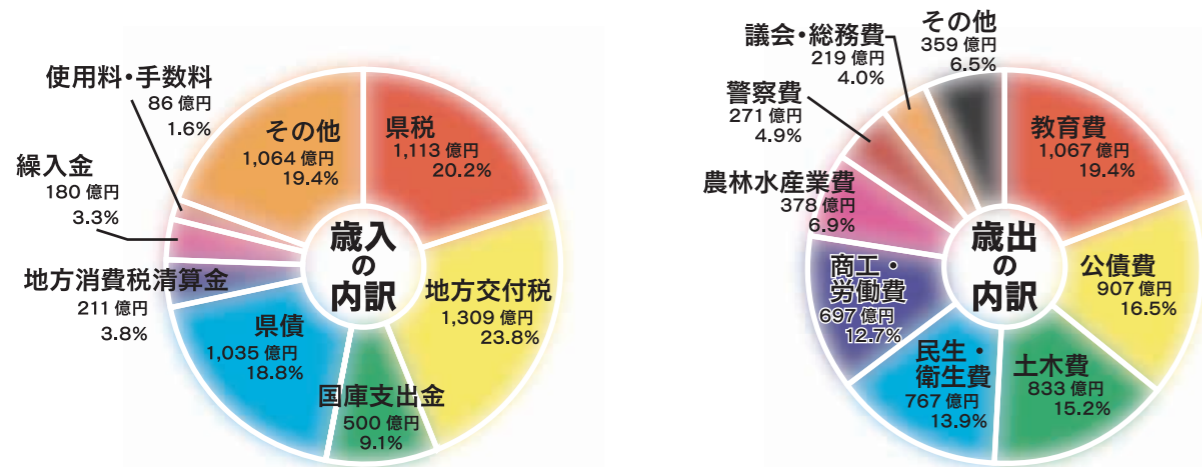


トピックス1 平成24年度県予算

平成24年度の富山県予算は、前年度比1.8%減の約5,499億円となりました。

平成24年度一般会計予算 歳入・歳出の概要

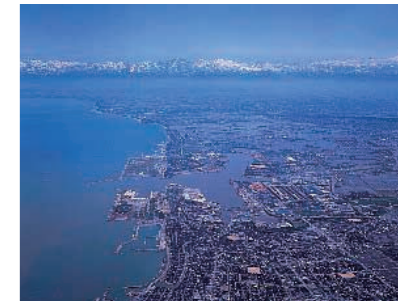
予算総額 5,498億9,260万円（前年度比 1.8%減）



主な事業

- 農林水産業の振興
 - 担い手への農地集積の促進、新規就農者への給付金の支給 2億3,750万円
 - 園芸特産物の作付拡大や野菜等の1億円産地づくりを支援 2億1,247万円
- 観光振興
 - 新幹線開業のプレキャンペーンなど 7,870万円
 - 外航クルーズ客船の誘致促進 2,120万円
- 陸・海・空の交通物流ネットワークの基盤整備
 - 北陸新幹線の建設促進 県内事業費753億円(県負担251億円)
 - 日本海側の総合的拠点港「伏木富山港」の機能強化と物流の活性化 8億9,532万円
- 子育て支援や学校教育の充実
 - 特別保育事業(病児・病後児保育や延長保育の拡充) 5億6,317万円
 - 放課後児童クラブの拡充 2億8,546万円
 - 小学校における少人数教育の充実 1億1,449万円
 - 中1・35人学級選択制の実施等 1億1,235万円
 - 県立学校、私立学校等の耐震化の推進 34億9,654万円
- 医療・福祉の充実
 - 県立中央病院の機能強化 2億9,450万円
 - 高志リハビリテーション病院の改築整備(基本設計等) 1億8,800万円
 - 在宅医療の推進 4,433万円
- 防災・危機管理対策
 - 広域消防防災センター(24年4月1日開館)の機能強化等 1億121万円
 - 津波ハザードマップ作成や海拔表示等の支援 4,841万円
 - 木造住宅耐震化の促進 6,380万円
- 生活交通の確保
 - 並行在来線の開業に向けた準備(準備会社を7月設立予定) 9億6,859万円

射水市関係の主な予算



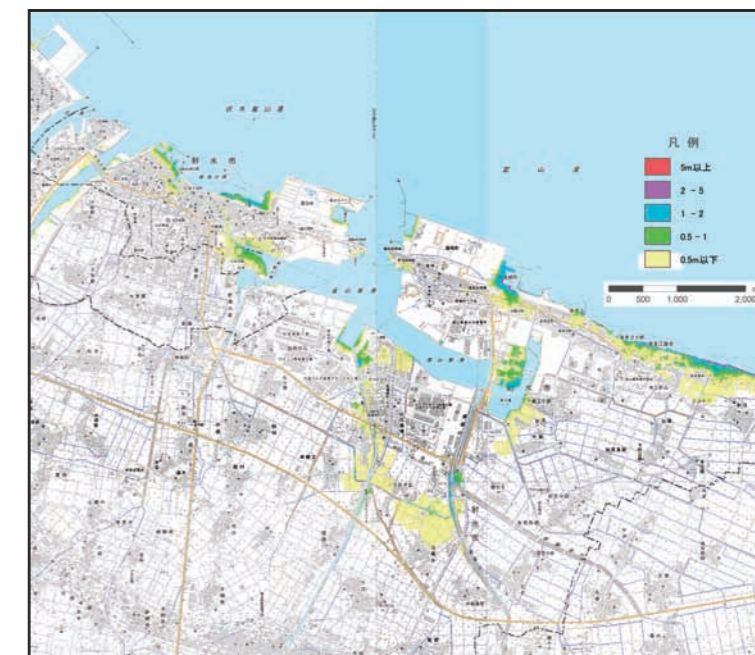
トピックス2 津波シミュレーション調査結果

東日本大震災を踏まえ、県が調査をしていた津波シミュレーション調査結果がまとまりました。

【射水市の場合】

	呉羽断層帯の地震 (地震規模 M7.4)
津波高	0.8~3.1m
最大津波高 到達時間	1分
浸水域面積 (堤防等が破壊された場合)	3.2km ²
全壊木造建物 (堤防等が破壊された場合)	120棟
死者数 (堤防等が破壊された場合)	21名

【浸水想定マップ】



【過去に富山県に襲った津波】

発生年	地震の名称	地震規模	津波の記録
1833年	山形県沖地震	M7.8	氷見 1~2m
1964年	新潟地震	M7.5	魚津 38cm、富山48cm、伏木 61cm
1983年	日本海中部地震	M7.7	新湊市 34cm、氷見市72cmほか
1993年	北海道南西沖地震	M7.8	富山新港22cmほか

出典:東京大学出版会「日本被害津波総覧」(684年~1996年に発生した津波を整理したもの)